

鴨 台 社 事 通 信

事務局：〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1 社会福祉学専攻内
TEL 03-3918-7311 (内線2431) / FAX 03-5394-3057

ごあいさつ

会長 大谷壽雄(新制大学1期生 昭和26年3月卒)

皆さんお元気ですか。今年も早や師走の季節を迎えました。卒業生の諸兄姉の皆さんが全国各地に於いて社会福祉の第一線の現場をはじめ、他の多くの分野でご活躍されている事は誠に喜びにたえません。

私は、戦後まもなく大正大学旧制予科に入学、昭和25年新制大学となった文学部社会学科社会事業専攻の3年に編入し、2年間長谷川良信先生はじめ吉田久一先生に「社会事業とは何ぞや」と言った原点を学びました。さらにもう1年、日本社会事業短期大学の研究科に学び、社会福祉の現場の中で地方公務員として定年まで39年間働かせていただきました。私が今日あるのは大正大学で社会福祉を学び卒業後実践させていただけたからと思っています。社会事業専攻の1期生は6名でしたが、今日まで多くの諸兄姉が社会福祉を学び、全国各地で活躍しています。

日本の社会福祉教育の発祥地とも言える大正大学の社会事業研究室が開室して明年で90周年を迎える年になりました。これも、大正、昭和、平成の歴史の中で、脈々と多くの人材を教育指導している大学当局に頭が下がる思いで一杯です。

大学でも、卒業後も共々に社会福祉の現場と在学生諸君との勉学の交流ができるのは、この社会福祉学会だけではないでしょうか。明年2月には第31回大会が開催されます。公私共ご多忙のところ、万障お繰り合わせいただき、福祉の学びの原点である大学にご参集ください。大会は先生方と在学生諸君の交流の場、同窓の諸兄姉の皆さんとの学問研鑽の場、また親睦を深める同窓の集いの場でもあるのです。

第31回 大正大学社会福祉学会のご案内

大会テーマ **しなやかに、凛として—いま、「福祉の専門職」に伝えたいこと**

[日 程] 平成20年2月10日(日) 13:00 受付

[会 場] 大正大学巣鴨校舎1号館2階 大会議室

[プログラム]

13:15~13:45 総 会

14:00~15:00 橋本泰子教授最終講義
「1970年以降の高齢者福祉 ～認知症ケアを中心に～」

15:30~16:30 記念鼎談「不思議な業界用語」
鼎談者 橋本泰子教授
今井 伸氏(練馬区光が丘総合福祉事務所・本学非常勤講師)
佐々木幸氏(大妻女子大学 人間関係学部人間福祉学科 実習講師)

17:00~18:30 懇親会(2号館8階 同窓会会議室にて)

[参加費] 大会参加費 ¥5,000 懇親会費 ¥4,000

記念品代(*) ¥3,000

*大会当日ご欠席の方には、橋本先生への記念品代をお振込みいただきますと、記念出版図書をお送りいたします。なお、ご出席の方は、参加費に記念品代が含まれており、当日受付にて記念出版図書をお渡しします。

[お申込み] 同封の返信ハガキにて平成20年1月12日までにお知らせください。
併せて1月末日までに参加費・記念品代のお振込みをお願いいたします。

大正大学で学んだ皆さんへ

橋本先生よりメッセージをいただきました

凜として

— 人間としての品格と、専門職としてのプライドと —

「品格」という言葉がよく登場するようになった。「国家の品格」から始まって、最近の「女性の品格」まで。品格とは品位とか気品の意味だという。どことなく感じさせられる上品さをもっている人は、どれほど周りにやすらぎを与えてくれることであろうか。「教養がある人」という言葉が持つイメージにも近いのかもしれない。知性と感性のバランスの取れている人、ソーシャルワーカーはこんな人でありたい。

大正大学の出身者には、こうした品格や教養を持っている人が多いように思う、といったら、手前味噌と揶揄されるであろうか。しかし、間違いなくソーシャルワーカーに適性のある人が多い。大正大学の教育の根幹にある宗教、そして先輩から引き継がれている伝統のなせる業であろうか。この伝統を大切にしたい。

社会福祉の基礎構造改革以来、サービス提供の理念は「個人の尊厳の保持」となり、サービス利用者（クライアント）と支援者（ソーシャルワーカー等）の関係は対等であることを目指すようになった。「ご利用者様」などと意味もなくクライアントに迎合する必要はない。対等な関係を維持するために、丁寧語を使い、美しい立ち居振る舞いができるようでありたい。さらに専門的知識技術を磨き、専門職としてプライドを持ち、「凜」としていたい。そして関連する他の専門職と協調し、クライアントを支えたい。

記念出版

中央法規出版刊

しなやかに、凜として —いま、「福祉の専門職」に伝えたいこと
橋本泰子教授退任記念論文集

目次（案）

- 第1章 座談会 ～弘済ケアセンター時代～
コラム
- 第2章 高齢者福祉はどのように変わってきたのか（1970年代から現在まで）
- 第3章 多様な視点から「高齢者福祉」を考える
- 第4章 高齢期の生活をいかに送るか、支えるか

執筆者一覧（敬称略）

（座談会） 菊地安子／佐藤州彦／高橋睦／都崎博子／中川昌弘

（コラム） 野中博／村田幸子／辻哲夫／大森彌

橋本泰子（大正大学）

山本かの子（大正大学）

宮崎牧子（大正大学）

大村貴美（特別養護老人ホーム 丸子の里）

野田文隆（大正大学）

山口由美（大妻女子大学）

白澤政和（大阪市立大学）

初鹿静江（順天堂大学）

山田知子（大正大学）

宮本佳子（東京家政学院大学）

新田秀樹（大正大学）

今井伸（練馬区光が丘総合福祉事務所）

岡本栄一（九州保健福祉大学大学院）

吉賀茂子（東京家政学院大学）

蝦江紀雄（広島文教女子大学）

2008年2月10日刊行

予定価格 2900円

研究室開室 90 周年記念事業

1918（大正7）年5月21日、「宗教大学社会事業研究室」が社会におめみえして、明年で90年。日本で最初の社会事業（社会福祉）研究教育機関であり、以来時代の先駆的役割を担いながら現在に連なっています。

そこで、本学会では多くの先人達の想いを風化させることなく、あらたな想いで「大正大学社会福祉学」を次の10年で向かえる100周年につなげるために、今ある力を結集して「開室90周年記念事業」を企画しています。

I・刊行企画

- 1・学部テキスト『人間っていいな—社会福祉原論Ⅰ』社会福祉研究会編
大正大学出版会 2007.5.21（既刊）
- 2・学部テキスト『人間っていいな—社会福祉原論Ⅱ』社会福祉研究会編
大正大学出版会 2008.5.21（刊行予定）
- 3・橋本泰子教授退任記念論文集
『しなやかに、凛として—いま、「福祉の専門職」に伝えたいこと』大正大学社会福祉学会編
中央法規出版 2008.2.10（刊行予定）
- 4・仮称『社会福祉教育の創始者たち』大正大学社会福祉学会 2008.5.21（刊行予定）
- 5・学会機関誌『鴨台社会福祉学論集—90周年記念号』大正大学社会福祉学会
2009.3.15（刊行予定）
- 6・仮称『大正大学社会福祉教育90年史』大正大学社会福祉学会
2009.3.15（刊行予定）

II・記念式典「開室90周年記念式典」

1 記念講演

仮題「社会事業研究室と長谷川良信—日本の福祉実践は巢鴨・マハヤナ学園からはじまった—」
長谷川 匡俊先生（大乗淑徳学園理事長・淑徳大学学長）

2 記念パーティー

開催日 平成20年5月17日（土）14:00—19:00（予定）

会場 大正大学巢鴨校舎

会員の皆様には、詳細決定後ご案内をお送りいたします。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

ホームページ開設

さらに、90周年記念事業の一環として、大正大学社会福祉研究室のホームページを開設いたしました。このホームページを通じて大正大学社会福祉学専攻を広くPRし、多くの先人達の想いを若い世代に手渡していくとともに、学会員の皆様に「大正大学社会福祉学研究室の今」を提供したいと思っております。

大正大学社会福祉学研究室ホームページ <http://www.ohdai.com>

会員専用ページ

閲覧にはパスワードとIDが必要です！

個別ID: 卒業生=この通信をお送りした封筒の宛名ラベル右下に記載の8桁の数字
在学生=学籍番号の末尾に“0”をつけた8桁の数字

共通パスワード: ohdai（半角英字）

会員専用ページ内には、事務室からのお知らせや、会員の方が自由に書き込める掲示板、職員・ボランティア募集などにご活用いただける募集掲示板などを設置してあります。ぜひご覧ください。

卒業生コラム

◆昭和大学附属豊洲病院

蔵方 伸枝

私の職場は、江東区のお台場寄りに立つ、161床の地域の中核病院です。昭和60年に卒業し、今まで医療ソーシャルワーカーで、どうにかこうにか仕事をしてきました。ですがこの1年は、医療制度、介護保険制度の改革が相談者の生活にひびいて、以前に比べ多問題の相談が多くなったように思います。年金が少なく、家族が要介護者で、自分も即座に入院と言われた何とかして欲しい、こんな相談は珍しくありません。

そのような時は、私一人ではどうにも出来ないので地域のケアマネジャー、訪問看護師、ヘルパー、地域のドクター、などの皆さんが頼りです。同職種よりも他職種の方にお世話になることが多いのです。夜中の電話で、自宅へ駆けつけてもらうこともあるのです。そんな時は電話の前で頭が下がる思いです。

そこで最近、なんとかお世話になっているという気持ちを伝えようと、その方がたへのプレゼントを作りました。パソコンで、自分で絵を書き画像処理してお店に頼んで31個作りました。1個160円とお礼にしては安いのですが、手紙を添えてお一人お一人に渡しているのです。仕事の内容とは違うけれど、同じ問題に皆で取り組んでいる、今この場で共にあるという気持ち、ありがとうと言う気持ちを伝える私なりの工夫です。

実践現場では、やってみた、でもどうにもならないと言うことがあります。そんな時は、一度すっかり忘れて、今できることを見つけて、努力して、お世話になる人には「ありがとう」と素直に伝えたいと思います。私のお礼が何かは内緒です。

◆株式会社ウイズネット 管理本部 コンプライアンス部部长

高山 善文

現在、私は株式会社ウイズネットという介護保険ビジネスの会社に在籍しています。当社の社長は大正大学のOBで、10年前に起業しました。現在では従業員1,800名、事業所数112箇所、介護業界で売上8位の会社になりました。当社の特徴は、全国展開でなく、地域に密着したサービス提供に特化しているということです。東京都・埼玉県・神奈川県の一都二県等の限定した地域のみを対象とし、集中的に同一商圏内の競業他社や競合他店に比べて特徴のあるサービスを意識した戦略や計画を練っています。折しも昨年はこの業界に激震が走り、とても勉強になった1年でした。

当社は民間企業であることを生かし、制度の枠組みだけのビジネスでなく、自由な発想で多様な利用者の価値に合ったサービスも開発しています。例えば、利用者に対してフットケアマッサージを組み入れたシニアセラピーという独自のプログラムを提供し、ご利用者から大変好評を得ています。あわせてサービスを提供する人たちに対してシニアセラピーセラピスト養成講座も作りました。また、利用者だけでなくその家族、そしてサービス提供者にも日頃からの介護疲れ、仕事疲れを癒してもらうために、さいたま市、戸田市と新横浜で岩盤浴とスパを組み合わせたコースを特別割引でご提供させていただいております。ご興味のある方は是非、当社のホームページをご覧ください。
<http://www.wis-net.co.jp/>もしくは検索エンジンで“ウイズネット”でご覧になれます。

社会福祉学専攻の動向

学部専攻主任 西郷 泰之

～2009年度に学科昇格～

いろいろな意味で節目の時期を迎えている社会福祉学専攻です。2008年度は本専攻の創設90年の節目の年になります。90周年行事を計画しているとともに、これを機会に卒業生や在校生の交流をより一層推進します。翌2009年度には、専攻から学科に再昇格します。新たな視点で、社会に貢献できる、他にはない特色のある学科を作り上げようと現在検討を進めています。一方、志願者の減少という気になるインシデントもあります。他大学の社会福祉学科等も志願者を減らしてはいますが、本学もいまこそ踏みとどまらなければならない段階に来ています。100周年に向けた新たな礎を築くための節目になるよう卒業生の皆様のなご一層のお力添えをお願いいたします。

学会事務局 〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1 大正大学社会福祉学専攻内
TEL 03-3918-7311〔内線2431〕/ FAX
03-5394-3057
Mail info@ohdai.com